

【トピックス】

- 栃木分場・いちご研究所 50 年記念 - 写真で振り返る 50 年の歴史



【昭和 49(1974)年から令和 6 (2024)年の歴史】

昭和 49(1974)年に旧栃木分場が開設し、いちごの試験研究は佐野農場から移管されました。「栃木県農業試験場いちご研究所」は、平成 20(2008)年にいちご専門の研究機関として開所、令和 6 年度に現在の「栃木県農業総合研究センターいちご研究所」となりました。

いちご研究所は、少しずつ形を変えながらも、長年いちごの新品種・新技術開発に取り組んできました。今年度、品種登録となった「栃木 i37 号(とちあいかな)」「栃木 iW1 号(ミルキーベリー)」を含め、誕生した品種は 10 品種を数えます。

今後も栃木県のいちご生産に寄与できるよう、試験研究に全力を尽くして参ります。



栃木分場本館完成
(昭和 49(1974)年)



ほ場に植えられた親苗
(昭和 51(1976)年)



ハウスの中で選抜をする職員
(昭和 52(1977)年)



「女峰」品種登録
(昭和 60(1985)年)



「とちおとめ」品種登録
(平成 8(1996)年)



栃木県農業試験場
いちご研究所開所式
(平成 20(2008)年)



「農業試験場」は「農業総合研究センター」に
(令和 6 (2024)年)



期待のニューフェイス「栃木 i37 号(とちあいかな)」品種登録
(令和 6 (2024)年)



(いちご研究所)